

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）

令和7年度4月入学試験問題

【 一 般 選 抜 】

生活文化学専攻

〔 専 門 科 目 〕

試験日：令和7年2月1日(土)

注 意

1. 試験科目は、受験票の志望研究領域の第1志望に記入した科目を選択すること。
選択にあたっては、別紙「志望専攻・コースごとの受験すべき試験科目について」
を参照すること。
2. 解答は、別添の解答用紙を使用すること。必要に応じて複数枚を使って構わない。
(2枚同封、3枚目以上は監督者に申し出ること。)
3. 使用する解答用紙のすべてに受験番号、氏名及び選択した試験科目名を記入
すること。
4. 総ページ数 ー 2ページ（1ページ目は下書き用紙）

試験科目名：表象文化論

表象文化論を志望するものは以下の設問に答えなさい。

1. 以下から3問を選択して、その用語について説明しなさい。

- (1) 眼差し (ゲイズ)
- (2) 装飾
- (3) イコノロジー
- (4) 表象
- (5) カノン

2. 以下から1問を選択して、それについて説明しなさい。その際、具体的な作品（アーティスト名、制作年代含む）を複数挙げながら、その社会背景についても言及すること。

- (1) テキスタイル・アート
- (2) コンセプチュアル・アート

3. 美術界におけるジェンダー的課題の筆頭に、しばしば女性芸術家の不在、もしくは不可視化という問題が挙げられる。一方でそれに対抗するように、女性芸術家たちは繰り返し「不在」と「不可視化」をテーマとして作品を生み出してきた。このことを端的に示す作品を複数挙げて、その作品について説明しなさい。年代、作家名、作品名、作品イメージのディスクリプション、作品の制作と受容の問題のすべてについて言及すること。